

## 第 50 回 IRIDeS 金曜フォーラムを開催しました (2017/10/27)

テーマ：東北大学災害科学国際研究所からの情報発信

URL：<http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html>

平成 29 年 10 月 27 日(金)に東北大学災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホールにおいて、「第 50 回 IRIDeS 金曜フォーラム」を開催しました。IRIDeS 金曜フォーラムとは、当研究所で行われている研究・活動の情報を所内のみならず学内外・一般の方々と広く共有し、研究の連携・融合を図ることを目的に、定期的な発表・討論の場として開催しているものです。本フォーラムでは、主に研究所の教員・スタッフから、各部門・分野での国際的・学際的な研究テーマについて話題提供を行います。

第 50 回は『海外の災害への関わり』をテーマとして、当研究所 4 名の発表者から話題提供をいただきました。当日は 40 名ほどの参加をいただき、総合討論では国際的な研究活動をする上での研究者の役割等について議論しました。具体的には日本政府や援助組織と違い、研究者としての独立的視点と学術的な役割が大事であることを議論しました。また、発展途上国における技術的支援(予算や機械)を含む研究の場合には、日本からの援助が無くなってしまっても現地で研究が継続できるような仕組み作りが必要であると活発な意見が出されていました。

当日の発表題目は以下の通りです。

1. 「モンゴル国の地震防災対策に関する技術支援」  
源栄 正人 災害リスク研究部門 地域地震災害研究分野 教授
  2. 「SATREPSトルコ防災での海底観測紹介」  
木戸 元之 災害理学研究部門 海底地殻変動研究分野 教授
  3. 「国際社会における長期的災害調査の意義と展望：タクロバン市の今」  
井内 加奈子 人間・社会対応研究部門 防災社会国際比較研究分野 准教授
  4. 「海外の災害医療と研究の意義」  
江川 新一 災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野 教授
- 司会・進行：小野 裕一(東北大学災害科学国際研究所 社会連携オフィス 教授)

次回第 51 回は、2018 年 1 月 26 日(金) 16:30～ 東北大学 災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホールにて『災害に備えて・災害が起きたときに、現場で求められているものは何か』をテーマに開催いたします。

詳しくは、HP をご覧ください。( <http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html> )



会場の様子



源栄教授



木戸教授



井内准教授



江川教授



総合討論の様子

文責：稲葉洋平(災害医学研究部門)、マリ・エリザベス(人間・社会対応研究部門)

写真：鈴木通江(広報室)